

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二 選

- 半生を過ごした我が家跡もなく 更地に立って涙あふるる 古閑 本田 律子
- 寺迫の生家の跡に佇みて 父母在りし日の想い出辿る 広崎 松原まゆみ
- 震災で行くべき道のおもほえず 春霞満つ野に迷うごと 宮園 金子フム子
- 時告ぐるメロディー急に鳴り渡り 被災の町に重機の動く 安永 守住 孝子
- 根元から傾きかけた庭の桃 地震に負けず蕾膨らむ 小谷 今吉マキ子
- 久びさに詣ずる寺の道の辺に 亡母好みし野すみれの咲く 安永 山下たか子
- 紅梅の咲き満つ花に集いきて 雀のおしゃべりいつまで続く 惣領 島田 廣子
- 単身の赴任は終わり今年から 次なる仕事老人の会 古閑 井上 誠二
- 幸せは最後に来たな今日も又 無是なる吾に愛降る館 惣領 小森英美子
- 雛壇の前で園児等お茶を点て 友に勧めて笑顔に戻る 安永 川野 光子
- 復興の願いを込めて撒く豆に つどう人みな声を弾ませます 安永 福田 圭子

俳句

河野 全平 選

- 解体の庭に爛漫しだれ梅 宮園 野口志津子
- 阿蘇遠く中州の野焼き緑川 赤井 西山恵美子
- ひともしのぐるぐる巻や春の色 小谷 今吉マキ子
- 菜の花やゆるゆる古稀の散歩かな 江津 高田美佐子
- 桃の花一輪髪に挿しにけり 柳水 山本スエ子
- 湧出する潮井の宮の桜かな 赤井 増岡 伸禧
- 更地となりだいこんの花輝けり 古閑 井上てつ子
- 仮設ぐらし蓋棺録や花の冷え 平田 城 陶子
- 辻ヶ峰に佇ちて鶯四方に聴く 田原 辻ヶ峰子
- 一句鑑賞 阿波野青歌
- 山又山 山桜又山桜 田上 富岳 選

狂句

田上 富岳 選

- 桃の花 飲んべえだけの花じゃない 江津 高田美佐子
- 桃の花 お雛様には欠かせない 広崎 松原まゆみ
- 桃の花 孫の髪にも飾りましょ 小谷 まさのり
- 桃の花 やさしく香るいぢらしさ 赤井 増岡 酔粹
- 桃の花 雛壇掛け軸ふみ 古閑 井上てつ子
- 桃の花 見れば見る程心晴れ 辻の城 岸良真由美
- 四車線 速度までもって遠出しゅう 赤井 吉村 富子
- 四車線 そこも私を通る道 古閑 井上 誠二
- 四車線 よかが移転は困るげな 宮園 井藤 吉郎
- 四車線 渡るつどかな青のうち 木山 今吉美美江
- 四車線 ついで町から市になろう 馬水 西田 正巳

狂句次号の課題「ちまき」がけ崩れ



益城の文化財
町文化財保護委員会



谷川

大楠山安養寺跡

谷川公民館から500メートル程、東の方へ登った所に左ノ目神社があります。その南側に隣接する谷間になった所に大楠山安養寺がありました。現在は寺域を二分するかたちで広域農道が通り、残された所は竹林となっています。竹林の中には、天文22(1553)年、永禄10(1567)年の板碑、五輪塔残欠、古い瓦等が散在しています。